

## 釣り中の事故に注意！

### ■東北地方における釣り中の事故発生状況（平成18年～平成27年）

秋から冬場にかけて釣り中の事故に伴う死者・行方不明者の数が増加する傾向があります。

釣り中事故 月別発生状況



### ■種類別の事故発生状況（平成18年～平成27年）

下の円グラフのとおり釣り中の事故は、約8割が「海中転落」によるものです。いざという時に備えた対策としては、次の4点が重要です。

#### ①複数での行動

仲間に助けをもらうことができます。

#### ②救命胴衣の常時着用

救助が来るまで体力を温存し、救命率を上げることができます。

#### ③防水対策のなされた携帯電話やスマートフォンを持つこと

助けを呼ぶことができます。

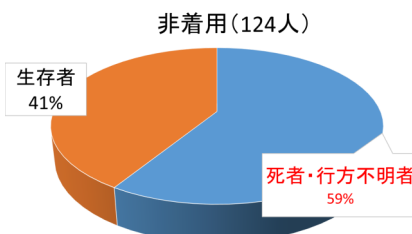
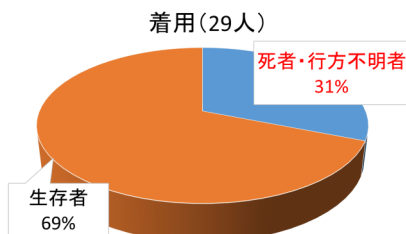
#### ④海の緊急通報118番

海上保安庁へ通報ができます。

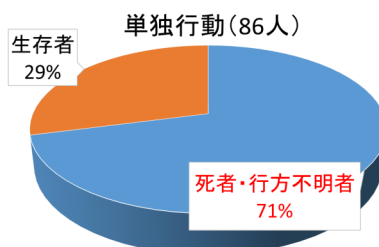
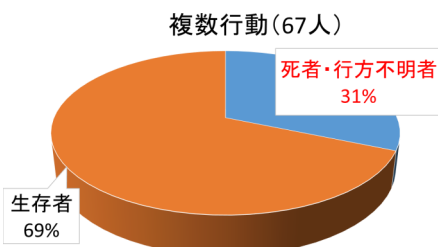


**万が一を考えた事前準備をしておき、事故の無いよう心掛けてください！**

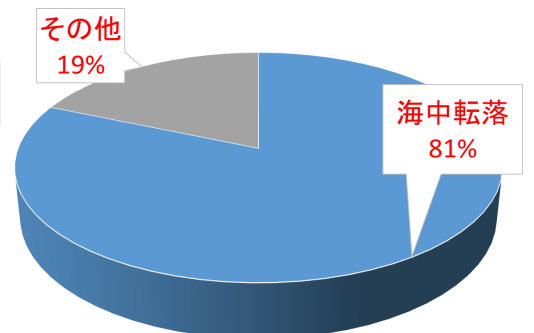
#### 【海中転落者のライフジャケット着用・非着用の死亡率】



#### 【海中転落者の複数行動・単独行動別の死亡率】



#### 【釣り中の事故種類別発生状況】



事故者188人のうち153人が海中転落

## ■船舶の流出に注意！

台風や発達した低気圧が通過した際、船舶が流出したり転覆する事例が多く発生しています。

荒天が予想されるにもかかわらず、適切な荒天対策を実施しなかったために発生しているものが多数を占めています。

荒天が予想される場合は、次の点に注意してください。

## 【荒天対策】

- ①小型船は「できる限り陸揚げ」
- ②定係港で陸揚げ等の対策が難しい場合は「静穏度の高い隣接港へ移動」
- ③係留強化
  - ・増しもやい
  - ・防舷物の追加



## 先月発生した釣り中の事故事例！

### ■釣り中に防波堤から海中転落！

事故者は、夕方、防波堤において単独で釣りをしていた際、バケツで水を汲もうとして海中転落しました。

海中転落後、泳ぎながら大声で助けを求めたところ、その声を聞き駆けつけた方が消防へ通報し、その後、消防救急隊により救助されました。

事故者は、救命胴衣未着用であり、また携帯電話も持っていない状況でした。

今回は、近くにいた方の通報により救助されましたが、自力で防波堤に上がることができない状態であり、誰もいなかった場合、海中へ取り残され、生死に関わるところでした。

また、事故者は、転落した際に海水を飲んでしまい、経過入院となりました。

自分の身を守るためには、自らの心がけが第一歩です！



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト

(沿岸域情報提供システム)



マリレ情報よろず屋に関するご質問等は、「022-365-9609 (直通)」までご連絡ください。担当者がお答えします。パソコンの方：「マリレ情報よろず屋」「海の安全情報」で検索！